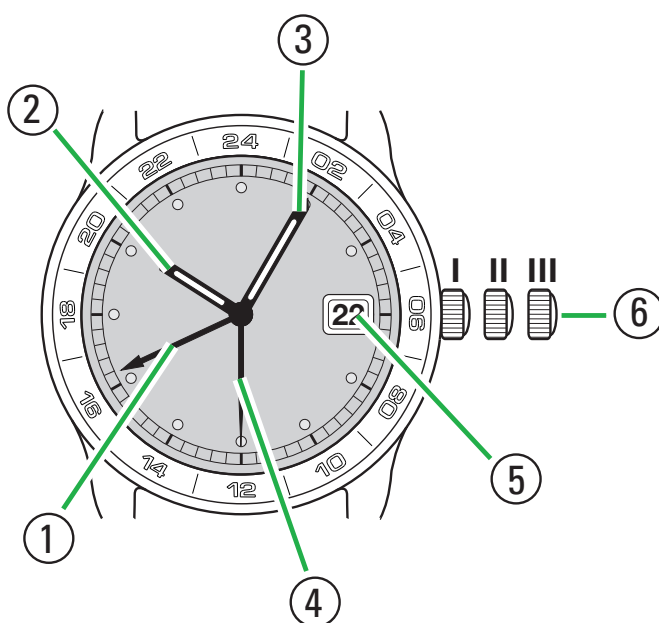


# GMT パワーマティック 80


## 取扱説明書



### 表示／機能

- ① GMT表示 (第2時間帯 - 24時間表示)
- ② 時針 (ローカルタイム)
- ③ 分針
- ④ 秒針
- ⑤ 日付表示
- ⑥ 3段階式リューズ：
  - I 通常および巻き上げ位置 (締められた状態\*、引き出されていない)
  - II 日付調整およびGMT表示調整位置 (緩められた状態\*、中間まで引き出されている)
  - III 時刻調整位置 (緩められた状態\*、完全に引き出されている)

**\*ねじ込み式リューズ モデル：**



- IA 初期位置 (締められた状態、引き出されていない)
- IB 通常位置 (緩められた状態、引き出されていない)

## はじめに

このたびは CERTINA® ウォッチをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。CERTINA® はスイスが誇る世界で最も高く評価されている時計のひとつです。高品質の素材や部品を使用し、細部に至るまで綿密に設計されたこの時計は、衝撃や温度変化に強く、防水性と防塵性を備えており、さらに DS システムの利点も併せ持っています。

本取扱説明書は CERTINA® 自動巻き時計 (ムーブメント Powermatic 80.661 GMT) 用です。時計の調整、使用については取扱説明書の該当するモデルの部分を参照してください。

弊社では厳しい品質検査を行った上で製品をお届けしていますが、末長くご愛用いただくために、取扱説明書をよくお読みの上、お使いいただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

DS システム (ダブルセキュリティ機構) には次のような特徴があります。

- 極めて高い耐衝撃性。
- 高耐久性のサファイアガラス。
- リューズを引いた状態でも変わることはない防水性を保証するリューズおよび巻真のガスカート。
- 強化ケースバック。

## 調整のしかた

### ねじ込み式リューズ モデル

防水性をさらに高めるために、一部のモデルには、ねじ込み式リューズ (6) を採用しています。時刻合わせや日付の調整をする場合、位置 II または III にリューズ (6) を引き出すには、リューズを緩めて位置 IB にしておく必要があります。

**重要: 防水性を保つために、操作後は必ずリューズを締め直しておいてください。水中ではリューズ (6) は操作しないでください。**

### GMT 表示 (第2時間帯) の時刻合わせ

- リューズ (6) を位置 III まで引き出します。秒針 (4) が止まります。
- リューズ (6) を手前 (6 時方向) または奥 (12 時方向) に回して、GMT 表示 (第2時間帯) (1) と分針 (3) を同時に調整します。この段階では、時計 (ローカルタイム) (2) と日付 (5) の調整は無視してください。
- リューズ (6) を位置 I まで押し戻します。
- これで、GMT 表示 (1) と分針 (3) は調整されました。
- リューズ (6) を位置 I まで押し戻します。秒針 (4) が再び動き始めます。

### 日付の即時修正とローカルタイムの調整

- リューズ (6) を位置 II まで引き出します。
- リューズ (6) を手前 (6 時方向) または奥 (12 時方向) に回して日付を合わせます。時計 (2) は 1 時間ごとに進み、時計が真夜中を超えるたびに日付が変わります。
- 日付の調整が終わったら、リューズ (6) を回し続け、希望するローカルタイムに時計 (2) を合わせます。

### 正確に時刻を合わせる方法

秒針 (4) を時報 (ラジオ/テレビ/インターネット) に同期させる場合は、まずリューズ (6) を位置 III に引き出します。秒針 (4) が止まります。時報が鳴る瞬間にリューズ (6) を位置 I に押し戻します。

## GMT 機能

伝統的に使われてきた GMT という言葉は、「グリニッジ標準時」を意味する英語の Greenwich Mean Time の頭文字を取ったものです。

20 世紀後半までは、これが基準時刻として採用されてきましたが、1972 年、より厳密な「協定世界時」(UTC) に置き換わりました。

通常、GMT という言葉は、ほぼ同じになる UTC+0 の同義語として使用されます。ただし、UTC は原子時計を用いたものであるのに対し、GMT は地球の回転に関連したものであるという点で、両者は異なります。

時計の世界では、第2時間帯表示がダイヤルにある場合、GMT という言葉が使用されます (希望する方をお選びください)。

## 巻き上げ

### 機械式自動巻き時計

時計が停止した場合または時計を長期間着用していなかった場合は、手で巻き上げを行う必要があります。巻き上げを行うと、腕の動きが少ない場合 (睡眠中など) でも時計を安定して作動させることができます。

そのような場合は、位置 I のリューズを手前 (6 時方向) に 30 回ほど回します。その後は時計を着用していれば、自動巻き上げシステムによって、ムーブメントが完全に巻き上げられます。リューズを使用して手で完全に自動巻き時計を巻き上げることもできます。自動巻きムーブメントは、ムーブメントが完全に巻き上げられた時点で、自動巻き機構のクラッチを切るスライディング フランジを備えています (ゆえにリューズは巻き止まりません)。ほとんどの機械式自動巻き時計は通常、80 回、リューズを回すと完全に巻き上げられます。

機械式ムーブメントの自動巻きシステムの効率、時計の着用者の腕の動きに左右されます。巻き上げるために自動巻き時計を乱暴に揺すらないでください。そのようにしても効率は上がり、時計が損傷するおそれがあります。

## 技術情報

### パワーリザーブ

CERTINA®の自動巻き時計には、着用者の腕の動きで作動するローターからエネルギーが供給されています。つまり、ローターが巻き上げを行います。自動巻き時計は電池を必要としません。GMT パワーマティック 80 モデルのパワーリザーブは約80時間です。

### 精度

機械式時計の精度は着用者の動きや着用状態に左右されるため、変化する場合があります。資格を有するCERTINA®の時計職人は時計の精度をCERTINA®の定める公差内に調整することができます。クロノメーターに認定されていないほとんどの時計の精度の平均公差は、およそ日差  $-10/+30$ 秒です。クロノメーターとは COSC (スイス公式クロノメーター検定協会) が発行する認定書を取得した高精度の機械式時計です。そのムーブメントは、15日間にわたって試験所で行われるさまざまな姿勢、さまざまな温度下での複数の精度検査および防水性検査に合格しています。クロノメーター認定を受けるには、機械式ムーブメントの平均精度が日差  $-4/+6$ 秒でなければなりません。

## 防水性

CERTINA®ウォッチはモデルにより10気圧(100メートル/330フィート)、20気圧(200メートル/660フィート)または30気圧(300メートル/1000フィート)までの防水性を備えるように設計されています(それぞれの防水性はケースバックに刻印)。

時計の防水性は無期限的には保証されません。防水性はガasketの経年劣化や時計が受ける衝撃などに影響を受けます。1年に1回はCERTINA®正規サービスセンターで防水性の検査を受けられることをお勧めします。

## 使用上のご注意

### 温度

時計を急激な温度変化(日光に当ててから冷水中に浸けるなど)にさらさないでください。また、極端な温度下(60°C以上または0°C以下)で使用、保管しないでください。

### 磁気

時計をスピーカー、携帯電話、コンピューター、冷蔵庫またはその他の電磁機器などが発生させる強い磁気にさらさないでください。

### 衝撃

熱衝撃やその他の衝撃を与えないでください。衝撃によって時計が損傷するおそれがあります。強い衝撃を受けた場合は、CERTINA®正規サービスセンターで時計の検査を行ってください。

### 有害な製品

時計を溶剤、洗剤、香水、化粧品など直接に接触させないでください。接触によってブレスレット(ストラップ)、ケースまたはガasketが損傷するおそれがあります。

### クリーニング

お買い上げの時計(レザーストラップは除く)は、柔らかい布と石鹸水を使用して定期的にクリーニングすることをお勧めします。海水中でのご使用後は、時計を真水ですすぎ、よく乾かしてください。

## メンテナンス

時計も他の精密機器と同様、良好に機能させるには定期的な点検が必要です。通常、3~4年に1回はお買い求めの販売店またはCERTINA®正規サービスセンターで時計の点検を受けられることをお勧めします。気候や時計の使用状態によっては、点検を受ける間隔が短くなる場合があります。保証を有効にし、完璧なメンテナンスを受けるには、お買い求めの販売店またはCERTINA®正規販売店にお問い合わせください。

## 交換部品の入手について

CERTINA®は標準的な時計の場合は、時計の製造終了から少なくとも10年、ゴールド製の時計の場合は20年まで交換部品が入手できることを保証しています。なんらかの理由で特定の交換部品の製造が終了または延期された場合、CERTINA®はその単独の裁量によってお客様に代替品による解決を提案する権利を留保します。